

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 193

1979. 7. 9

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ 夏季休暇中のプログラム相談について 1
- ◇ FORTRAN-GE コンパイラのレベルアップについて 1

◇ 夏季休暇中のプログラム相談について

標記のことについて、下記のとおり実施しますのでご了承ください。

記

- ・ 期 間 7月11日(水)～9月10日(月)
- ・ 曜 日 月, 水, 金 曜日
- ・ 時 間 13:00～17:00

(共同利用掛 電(内)2256)

◇ FORTRAN-GE コンパイラのレベルアップについて

6月25日より, V4/L4からV4/L9にレベルアップしました。主な変更内容は以下の通りです。

① コンパイラオプションの追加

LET/NOLET

LET……GOオプション指定時にEレベルのエラーがあっても実行可能とする。

NOLET…Eレベル以上のエラーがあると実行しない。

②エラーメッセージの追加

JMK068I-W THE ADJUSTABLE DIMENSION IS REDEFINED(name)

整合寸法を、代入文・READ文などで値を変えた時、診断メッセージを出力し、使用者に注意を促す。

③CALL文および外部関数の引数の個数を250個までに拡大する。(従来は150個)

④エラーメッセージの変更

・JMK301I-E THE STATEMENT HAS MORE THAN 250 DUMMY ARGUMENT

この文の仮引数並びの仮引数は、250個を超えている。

・JMK022I-I THIS NAME IS DEFINED BUT NOT USED IN THIS PROGRAM UNIT(name)

従来の診断範囲を拡大し、文関数定義文が宣言されているのに、引用されていないときもこのメッセージを出力する。

⑤WRITE文のERRパラメータを認める。

JMK253I-E THE WRITE STATEMENT HAS AN ERR PARAMETER

のメッセージを出力しない。

⑥基本実定数が8桁を越えたとき、JMK065I-W THIS BASIC REAL CONSTANT IS CONSIDERED AS A REAL CONSTANT OF LENGTH 4 を出力していたが、DOUBLE オプションを指定したとき、上記のメッセージを出力しないようにした。

⑦デバッグ文SUBCHK でエラーの起きたI・S・Nを表示する。

⑧TSSでRUNを繰り返し行くと、JMK810I DDNAME LKLDLIB IS NOT ALLOCATEDのエラーが出ていたが、出ないように修正した。